

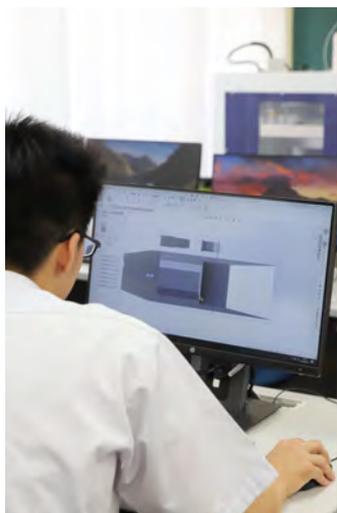
工学科で楽しく真剣にもものづくり

2020年度より男女共学に…先端工学コース・インテリアデザインコース・ものづくりコース

広島都市圏には3つの公立工業高校があります。それに対して私立で工業系の専門学科を持つのは山陽高校だけ。山陽高校工学科は私学の特徴を生かし、一年次は工学に関する総合的な内容を、二年次からは将来の希望や興味関心に応じて3つのコースから選択できる形となっています。各コースでは創意工夫しながら楽しく真剣にもものづくりの世界を極めていくことができます。さらに就職に強いのが山陽高校工学科。公立工業高校と互角の就職実績を誇ります。

先進の工業技術を学ぶ「先端工学コース」

先端工学コースでは「ロボティクス」を中心に電子制御・作動プログラム・力学構造について学ぶことができます。また、コンピュータで三次元の設計図を描く3DCADソフト運用のためにワークステーション(画像処理に特化した高性能コンピュータ)36台を投入。ストレスなく製図に没頭することができます。また3Dプリンタも併せて設置されており、実際に作成した三次元の設計図をカタチにすることで、先端のものづくりを理解することができます。



個性輝く「インテリアデザインコース」

インテリアデザインコースでは、「インテリア計画」や「デザイン技術」をはじめ、コンピュータを使った「3DCAD製図」などイメージをカタチにする力を養います。また、

実物大の家具の制作や3Dプリンタによるミニチュアルーム作成などを通じて、インテリアに関する創造力豊かな技術の習得を目指します。デザイン好きの人におすすめです。



ものづくり大好き! 「ものづくりコース」

こどものころからモノを作ることが大好きだった人におすすめなのがものづくりコースです。金属を熱の力で加工する「溶接」や金属を削りだし部品を生み出す「旋盤(せんぱん)」、金属を磨き部品を仕上げる「手仕上げ」をはじめ木工やエンジンの分解・組立など、モノづくり好きにはたまらない世界が待っています。また国家資格技能士をはじめさまざまな資格を取得できるのも大きな魅力です。

有力企業に続々内定、就職に強い工学科

山陽高校工学科は「とにかく就職に強い」と定評があります。これまでの伝統と実績が多く企業から評価されており、毎年、有力企業へ続々内定を果たしています。例をあげればトヨタ自動車、マツダ、スズキ、UDトラック、三菱ふそうトラック・バス、ウッドワン、JR西日本、エディオン、日本製鋼所、中電工、常石造船、新明和工業など、各業種を代表する企業名が並びます。

山陽高校の先輩から リレーボイス!

私が先端工学コースで良かったことは、これから先仕事で役立つロボティクスや3Dプリンタなどの先端技術に関する基礎的な学習が出来ることです。このコースでは、ロボット制御を目標に電子技術や作動プログラム、力学構造などについて学びます。実習ではロボットの製作を行い構造やプログラムを確認し、実際に制御を行います。また、先端工学では3DCADが学習できます。コンピュータを使って仮想の三次元空間に立体的な形状を作るツールです。作ったものをクラスメイトと見比べたり、実際に組み合わせて動作シミュレーションを行ったりします。また3Dプリンタに出力し、実際に創作活動が出来るところが魅力だと思います。このコースのポイントはどのコースよりも長くコンピュータに触れることが出来ます。工業分野でコンピュータを使用している仕事を考えている人やソフトウェアや制御技術に興味がある人はぜひ先端工学コースに入ることをおすすめします。

工学科先端工学コース3年 幸多海人くん（広島市立戸坂中学校出身）



私は工学科ものづくりコースを選んで良かったことは、さまざまな工業の作業をパートごとに授業で体験できることです。パートは木工、溶接、旋盤、電気、原動機、マシニングセンタ、手仕上げなどがあります。ほぼすべてのパートで少しのミスが命に係わることに繋がるので実習中は張りつめた空気が流れています。そんな状況だからこそ、作業を大切に行う大切さ、適切な判断力など、授業を通して学ぶことができます。ここで学んだことは絶対に将来の進路に生かしていけると思っています。

ものづくりコースのおすすめのポイントは、就職に直結しているコースだけあって工業のいろいろな視点から授業の内容はもちろんのこと、進路のためになるお話や人と関わる上での礼儀作法も教わることができます。これは他の科やコースにはない特徴だと思います。私はさまざまな体験が出来、先生が寄り添ってくれるものづくりコースで良かったと思っています。

工学科ものづくりコース3年 清水 優くん（広島市立城山北中学校出身）

インテリアデザインコースの授業は、デザイン技術、インテリア計画、木工デザイン等の授業があります。デザイン技術では、遠近法・2点透視図法を使って立体物を描いたり、直方体・円柱・球などの色々な形を立体的に描いたりなどスケッチをよくしています。次にインテリア計画ではインテリアデザインの歴史について学ぶことができます。例えば、昔の建物や照明、椅子などが出てきます。最後に木工デザインでは普段あまり使うことのない機械や道具でカッティングボードなどの家具を作って実際に家で使用しており、インテリアデザインコースで良かったと思っています。

工学科インテリアデザインコース2年 野田朋花さん（広島市立三和中学校出身）

